

岐阜県の消費生活相談窓口における 相談状況（令和 7 年度上半期）

令和 8 年 2 月

県民生活相談センター

1 岐阜県の消費生活相談窓口における相談状況（令和7年度上半期）

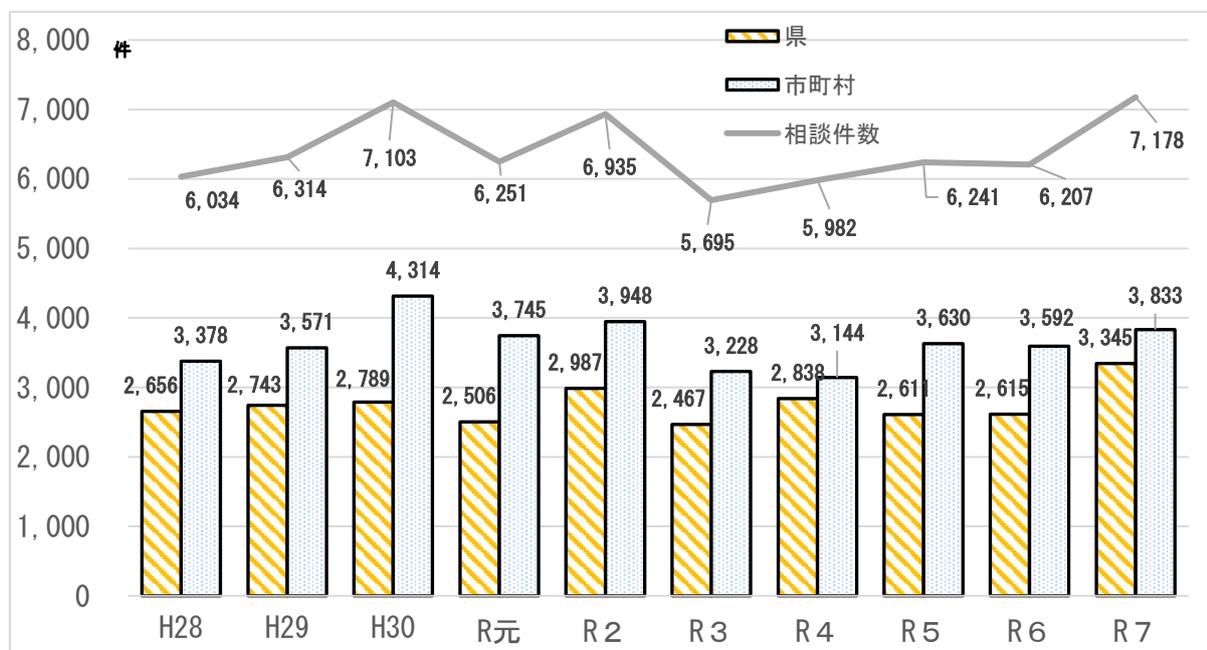
○県及び市町村の相談件数は7,178件（前年同期に比べ、15.6%（971件）増加）
 ○商品・サービス別では「商品一般」（架空請求等）が802件で最多（17.4%増加）
 ○販売購入形態別では、通信販売に関する相談が2,757件で最多（12.2%増加）
 ○65歳以上の高齢者の相談は2,035件（12.7%増加）で全体の28.4%を占める。
 ○29歳以下では、「理美容」に関する相談が78件で急増している。（200%増加）

（1）概況

① 相談件数〔図1〕

- ・県及び市町村における令和7年度上半期の相談件数は7,178件で、前年同期より971件（15.6%）増加した。
- ・内訳は、県窓口受付件数が3,345件（46.6%）で対前年730件（27.9%）増加、市町村窓口受付件数が3,833件（53.4%）で対前年241件（6.3%）増加。

〔図1〕年度（上半期）別相談件数



② 契約当事者の年代別状況〔表1〕

- ・60歳代（1,036件）が最も多く、次いで50歳代（988件）、70歳代（979件）の順となっている。

〔表1〕契約当事者の年代別相談件数

		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	65歳以上
R7	件数	138	548	558	759	988	1,036	979	576	1,596	2,035
上半期	構成比	1.9%	7.6%	7.8%	10.6%	13.8%	14.4%	13.6%	8.0%	22.2%	28.4%
R6	件数	124	419	415	670	809	962	876	482	1,450	1,806
上半期	構成比	2.0%	6.8%	6.7%	10.8%	13.0%	15.5%	14.1%	7.8%	23.4%	29.1%

※端数処理の都合上、合計が100%とならない場合がある。

③ 相談者の居住地（圏域）別状況〔表6〕

- ・岐阜圏域（3,208件）が最も多く、人口千人当たりの件数でも岐阜圏域（4.1件）が最多。

〔表6〕相談者の居住地（圏域）別相談件数

圏域	件数	構成比	人口※	人口千人当たり件数
岐阜圏域	3,208	44.7%	776,938	4.1
西濃圏域	1076	15.0%	340,715	3.2
中濃圏域	1045	14.6%	350,039	3.0
東濃圏域	837	11.7%	304,753	2.7
飛騨圏域	290	4.0%	129,113	2.2
不明・県外	722	10.1%	-	-
計	7,178	100%	1,901,558	3.8

※岐阜県人口動態統計調査 市町村別推計人口（R7.4.1現在）

※端数処理の都合上、合計が100%とならない場合がある。

（2）相談内容の特徴

① 商品・サービス別状況〔表2〕

- ・架空請求（海外の拠点からの詐欺的な電話やSNS送信などを含む）に関する相談などの「商品一般」（802件）が最も多い。
- ・次いで多いのは、「化粧品」（514件）で、前年同期より28件（5.2%）減少した。「安価な1回だけのお試しのつもりで申し込んだら、定期購入になっていた」等の相談が多かった。

〔表2〕商品・サービス別相談件数（上位10位）

順位	商品・サービス別	R7	R6	前年	相談内容
		上半期	上半期	同期比	
1	商品一般	802	683	117.4%	架空請求に関する相談等
2	化粧品	514	542	94.8%	化粧品の定期購入等
3	役務その他	385	331	116.3%	他に分類されないサービス
4	健康食品	303	344	88.1%	健康食品の定期購入等
5	レンタル・リース・貸借	267	225	118.7%	賃貸アパート、借家等
6	相談その他	223	187	119.3%	消費生活問題以外の相談
7	工事・建築・加工	204	170	120.0%	屋根工事、新築工事、リフォーム等
8	自動車	201	164	122.6%	自動車販売の相談等
9	融資サービス	193	198	97.5%	ローン等
10	インターネット通信サービス	165	146	113.0%	光ファイバーなどのネット接続回線 等

※商品一般：商品の相談であることが明確であるが、分類を特定できない、又は特定する必要のないもの。

② 販売購入形態別状況〔表3・表4〕

- ・「通信販売」(2,757件)が最も多く、前年同期より299件(12.2%)増加、全体の38.4%を占める。
- ・「通信販売」では、「化粧品」「健康食品」が多くなっている。

〔表3〕販売購入形態別相談件数

販売購入形態	R 7 上半期		R 6 上半期		前年 同期比
	件数	構成比	件数	構成比	
通信販売	2,757	38.4%	2,458	39.6%	112.2%
(うちインターネット通販)	(2,035)	(28.4%)	(1,788)	(24.9%)	(113.8%)
店舗購入	1,310	18.3%	1,163	18.7%	112.6%
訪問販売	497	6.9%	478	7.7%	104.0%
電話勧誘販売	394	5.5%	300	4.8%	131.3%
マルチ・マルチまがい取引	41	0.6%	38	0.6%	107.9%
ネガティブ・オプション	33	0.5%	42	0.7%	78.6%
訪問購入	63	0.9%	56	0.9%	112.5%
その他無店舗販売	27	0.4%	33	0.5%	81.8%
不明・無関係	2,056	28.6%	1,639	26.4%	125.4%
計	7,178	100.0%	6,207	100.0%	115.6%

※インターネット通販：ここでは、出会い系サイト、アダルト情報サイトなどの有料サービスも含む。

※ネガティブ・オプション：送り付け商法。注文していないにもかかわらず、商品を一方的に送り付け、受け取ったことで購入しなければならないものと勘違いをさせて代金を支払わせることを狙った商法。

※訪問購入：購入業者が消費者の自宅などの営業所等以外の場所において、売買契約の申込みを受け、又は売買契約を締結し、物品等を買取する方法。

※端数処理の都合上、合計が100%とならない場合がある。

〔表4〕販売購入形態別商品・サービス別相談件数（上位3位）

販売購入形態	1位	2位	3位
通信販売(2,757)	化粧品(478)	健康食品(245)	商品一般(229)
店舗購入(1,310)	自動車(130)	レンタル・リース・貸借(124)	理美容(116)
訪問販売(497)	工事・建築・加工(56)	修理・補修(47)	役務その他(47)
電話勧誘販売(394)	魚介類(55)	役務その他(53)	商品一般(52)
マルチ・マルチまがい取引(41)	健康食品(11)	内職・副業(8)	化粧品(5)
ネガティブ・オプション(33)	商品一般(8)	化粧品(4)	健康食品(3)
訪問購入(63)	アクセサリ(15)	商品一般(14)	他の教養娯楽品(5)
全相談(7,178)	商品一般(802)	化粧品(514)	役務その他(385)

③ 契約購入金額別状況〔表5〕

- ・平均契約購入金額は89.6万円で、前年同期（83.6万円）より6.0万円（7.2%）増加した。

〔表5〕契約購入金額別相談件数

契約購入金額	R 7 上半期	R 6 上半期	前年 同期比
1万円未満	1023	815	125.5%
1万円以上5万円未満	866	754	114.9%
5万円以上10万円未満	233	192	121.4%
10万円以上50万円未満	531	483	109.9%
50万円以上100万円未満	188	201	93.5%
100万円以上500万円未満	355	305	116.4%
500万円以上1億円未満	118	85	138.8%
1億円以上	0	2	0.0%
その他・不明	3,864	3,370	114.7%
計	7,178	6,207	115.6%
平均契約購入金額（万円）	89.6	83.6	107.2%

（3）高齢者（65歳以上）の相談状況

① 相談件数〔表1〕

- ・契約当事者が高齢者（65歳以上）の相談件数は2,035件で、前年同期より229件（12.7%）増加した。全体に占める割合は28.4%で、前年同期（29.1%）より0.7ポイント減少した。

② 相談内容の特徴〔表7・表8〕

- ・商品・サービス別にみると、架空請求（詐欺的な電話やSNS送信などを含む）に関する相談などの「商品一般」（215件）が最も多い。
- ・販売購入形態別にみると、「通信販売」（803件）が最多。
- ・全体に占める高齢者の割合でみると、「訪問購入」（61.9%）、「訪問販売」（42.7%）、「電話勧誘販売」（39.6%）が高くなっている。
- ・平均契約購入金額は61.6万円で、前年同期より8.2万円増加した。

〔表7〕契約当事者が65歳以上の商品・サービス別相談件数（上位5位）

順位	商品・サービス	R 7 上半期	R 6 上半期	前年 同期比	相談内容
1	商品一般	215	211	101.9%	架空請求に関する相談等
2	化粧品	182	231	78.8%	化粧品の定期購入等
3	健康食品	162	152	106.6%	健康食品の定期購入等
4	役務その他	87	88	98.9%	他に分類されないサービス
5	工事・建築・加工	76	75	101.3%	屋根工事、新築工事等
	総数	2,035	1,806	112.7%	

〔表 8〕 契約当事者が65歳以上の販売購入形態別相談件数

販売購入形態	R 7 上半期		全体に占める 65歳以上の割合	R 6 上半期	
	件数	構成比		件数	構成比
通信販売	803	39.5%	29.1%	732	40.5%
（うちインターネット通販）	(603)	(29.6%)	(29.6%)	(516)	(28.6%)
店舗購入	315	15.5%	24.0%	282	15.6%
訪問販売	212	10.4%	42.7%	218	12.1%
電話勧誘販売	156	7.7%	39.6%	96	5.3%
マルチ・マルチまがい取引	9	0.4%	22.0%	10	0.6%
ネガティブ・オプション	4	0.2%	12.1%	10	0.6%
訪問購入	39	1.9%	61.9%	32	1.8%
その他無店舗販売	5	0.2%	18.5%	8	0.4%
不明・無関係	492	24.2%	23.9%	418	23.1%
計	2,035	100%	28.4%	1,806	100%
平均契約購入金額（万円）	61.6	—	—	53.4	—

※端数処理の都合上、合計が100%とならない場合がある。

(4) 若者（29歳以下）の相談状況

① 相談件数〔表1〕

- ・契約当事者が若者（29歳以下）の相談は686件で、前年同期より143件（26.3%）増加した。全体に占める割合は9.6%で、前年同期（8.7%）より0.9パーセント増加。

② 相談内容の特徴〔表9・表10〕

- ・商品・サービス別にみると、「理美容」（78件）が最多で、脱毛や痩身のエステティックサロンとの契約に関する相談が多く寄せられた。次いで、他に分類されないサービスである「役務その他」、電話やSNS送信による詐欺的な請求などを含む「商品一般」に関する相談が多く寄せられた。
- ・販売購入形態別にみると、「通信販売」（275件）が最多。全体に占める若者の割合でみると、「マルチ・マルチまがい取引」（22.0%）が高くなっている。
- ・平均契約購入金額は123.7万円で、前年同期より24.1万円増加した。

〔表9〕契約当事者が29歳以下の商品・サービス別相談件数（上位5位）

順位	商品・サービス	R7 上半期	R6 上半期	前年 同期比	相談内容
1	理美容	78	26	300.0%	脱毛・痩身エステ等
2	商品一般	54	31	174.2%	架空請求に関する相談等
3	役務その他	46	21	219.0%	他に分類されないサービス
4	他の教養・娯楽	44	48	91.7%	オンラインゲーム・出会い系サイト等
5	レンタル・リース・貸借	38	35	108.6%	賃貸アパート等
	総数	686	543	126.3%	

〔表10〕契約当事者が29歳以下の販売購入形態別相談件数

販売購入形態	R7 上半期		全体に占める 29歳以下の割合	R6 上半期	
	件数	構成比		件数	構成比
通信販売	275	40.1%	10.0%	236	43.5%
（うちインターネット通販）	(187)	(27.3%)	(9.2%)	(162)	(29.8%)
店舗購入	194	28.3%	14.8%	135	24.9%
訪問販売	41	6.0%	8.2%	37	6.8%
電話勧誘販売	32	4.7%	8.1%	31	5.7%
マルチ・マルチまがい取引	9	1.3%	22.0%	10	1.8%
ネガティブ・オプション	0	0.0%	0.0%	2	0.4%
訪問購入	0	0.0%	0.0%	1	0.2%
その他無店舗販売	4	0.6%	14.8%	2	0.4%
不明・無関係	131	19.1%	6.4%	89	16.4%
計	686	100%	9.6%	543	100.0%
平均契約購入金額（万円）	123.7	—	—	99.6	—

※端数処理の都合上、合計が100%とならない場合がある。

③ 18歳～19歳の状況〔表11〕

- ・令和4年度から成年年齢引下げにより成人とされた、契約当事者が18歳～19歳の相談件数は75件で、前年同期より16件（27.1%）増加した。
- ・商品・サービス別にみると、脱毛エステや痩身エステに関する相談など「理美容」が最多であった。

〔表11〕契約当事者が18歳～19歳の商品・サービス別相談件数（上位3位）

順位	商品・サービス	R7 上半期	R6 上半期	前年 同期比	相談内容
1	理美容	13	7	185.7%	脱毛・痩身エステ等
2	商品一般	8	5	160.0%	架空請求に関する相談等
3	自動車	5	3	166.7%	自動車販売の相談等
	総数	75	59	127.1%	

④ 20歳～22歳の状況〔表12〕

- ・契約当事者が20歳～22歳の相談件数は169件で、前年同期より44件（35.2%）増加した。
- ・商品・サービス別にみると、脱毛エステや痩身エステに関する相談など「理美容」が最多であった。

〔表12〕契約当事者が20歳～22歳の商品・サービス別相談件数（上位3位）

順位	商品・サービス	R7 上半期	R6 上半期	前年 同期比	相談内容
1	理美容	29	9	322.2%	脱毛・痩身エステ等
2	内職・副業	14	10	140.0%	情報商材など内職・副業
2	役務その他	13	6	216.7%	他に分類されないサービス
	総数	169	125	135.2%	

(5) 相談事例

事例1 商品一般（架空請求等）に関する相談

フィッシングメールに引っ掛かり、カード番号などを入力してしまい、カードを不正使用されたようである。自分の不注意でもあるので、支払うしかないのだろうか。（70歳代 女性）

事例2 役務その他に関する相談

SNSで「動画編集をするだけで簡単に稼げる」という広告を見かけて、36回支払いのコースでコンサルティング委託業務契約をしたが、やはり冷静に考え直すとクーリングオフしたいと思う。どのようにしたらよいか。（20歳代 男性）

事例3 健康食品に関する相談

ネットの広告を見てダイエットサプリメントのお試しの商品を注文したが、注文していない別の商品まで一緒に送られてきた。業者に「要らないので全部返品したい。」と伝えたが、容易に解約できない。（70歳代 女性）

事例4 レンタル・リース・賃貸借に関する相談

娘の振袖をレンタルし、代金については既に現金で支払い済みである。ところが、業者が連絡もなく休業してしまい連絡が取れない。（40歳代 女性）

事例5 自動車に関する相談

中古車をネットで購入して代金を口座振り込みで支払ったのだが、催促をしてもなかなか納車されないので解約することにした。ところが、全額の返金を受けられないので困っている。（40歳代 男性）

事例6 工事・建築・加工に関する相談

戸建の中古住宅（古民家）を購入してリフォーム工事を業者と契約した。着工後に追加の工事費用が発生するのだが、工事前に説明があるのが普通ではないのか。納得ができない。（40歳代 男性）